セブ島通信
セブ日本人会報
2017年３月号
（隔月発行）

二〇一七年セブ日本人会定時総会

セブ日本人会
副会長 藤岡頼光

２０１７年セブ日本人会定時総会が１月２８日土曜日１８時からマルコポーロホテルで行われました。

開会に先立ち櫻井会長からセブ日本人会が去年行ってきた活動の報告がありました。ホームページやＦａｃｅｂｏｏｋの充実を図りセブ島通信の電子化の意義などが説明されました。また昨年２万３千人以上さんかした盆踊りの報告、そして今年からさらに日程を変更してさらに充実させていくと言った頼もしい話も聞くことができました。

８月はフィリピンの雨期なので一年で一番安定した気候でかつ現地の学校が始まる直前の渋滞の無い５月２７日、２８日に盆踊りが催されます。櫻井会長によると既に定着している「盆踊り」の名前をそのまま、よりフィリピン人が参加しやすい日程に変更し、更なる日比交流を進めていくそうです。

その他、目まぐるしく変化する世界情勢や、天災などに備えた緊急連絡網の復活についても触れられ挨拶が締めくくられました。

櫻井会長は東南アジアでの日本人会に置いて初めての女性会長です。女性の目線ときめ細かい気配りでセブ日本人会を盛り上げて頂いています。

櫻井会長の挨拶の後、セブ領事事務所鶴岡所長兼参事官とセブ日本人商工会議所浅井会頭から挨拶を頂き議長及び書記が選出され２０１７年セブ日本人会定時総会が予定通り行われました。

２０１７年セブ日本人会定時総会で話し合われた議案は３つです。

１号議案

２０１６年の活動報告が山中企画担当理事から「２０１６年セブ日本人会活動報告」に沿って説明、報告がありました。

２０１６年の決算報告が松田財務担当理事から「２０１６年度セブ日本人会決算書」に沿って説明、報告がありました。

２０１６年の決算について監査報告は中野氏から全て問題なしとの報告がありました。

２号議案

２０１７年の活動予定が山中企画担当理事から「２０１７年セブ日本人会活動予定」に沿って、説明・報告がありました。

２０１７年の予算案が松田財務担当理事から「２０１７年度セブ日本人会予算案」に沿って説明・報告がありました。

３号議案　セブ日本人会会則・会費・家族会員について　櫻井会則担当理事から説明がありました。

①　家族会員

旧：正会員の配偶者及び満２０歳以上の子女。但し国籍は問わない。

新：正会員の配偶者及び満１８歳以上の子女とその配偶者。但し国籍は問わない。

②　会費

旧：会員は以下に定められた会費を支払わなければならない。会費の支払いは原則として１回１年分の納入を原則とする。但し、個人会員の場合は６ヵ月分の納入も可とする。

新：会員は以下に定められた会費を支払わなければならない。会費の支払いは原則として１回１年分の納入を原則とする。但し、個人会員の場合は６ヵ月分の納入も可とする。

追加　家族会員の場合は１回２年分を一括で納入を原則とする。

③　家族会員

旧：月額　１５０　ペソ。入会金は会費２か月分。

新：月額８０ペソ。入会金は免除。

今回の会則の変更の目的は少しでも多くの方に協賛店や協賛ホテルのサービスを受けて頂くため行われました。

以上の議案は出席した会員３８名、委任状１０３通で過半数を超え参加者全員に拍手をもって１号議案、２号議案、３号議案とも承認されました。

２０１７年セブ日本人会定時総会は例年よりスムーズに進みました。盆踊りの成功による予算の黒字化など櫻井会長の実績が評価されたのだと思います。

今後は会員数３００名を目標にセブ日本人会理事一同、頑張っていくつもりです。

１８時半から会員以外の参加者も加え懇親会が行われました。セブの長老こと岡様の乾杯の挨拶を頂き、懇親会は大いに盛り上がりました。

毎年恒例になっている餅つきがセブ日本人補習授業校の講師とセブ日本人会会員の奥様方のご協力により行われました。ご婦人方が準備した餅米を松田理事を中心としたセブに住む男性陣により力強くつかれ美味しいお餅になりました。

毎回盛り上がる餅つきは欠かせないイベントになっています。協力して頂いたご婦人の皆様、そして松田理事をはじめ餅をついて頂いた男性の皆様、本当にご苦労様でした。

今年はＢＤＯのＪａｐａｎデスク様からのお知らせや、２０１６年に行われた盆踊りのビデオなどが流され始盛りだくさんの懇親会でした。

毎年、懇親会を楽しみになさっている会員様が多くいらっしゃいます。今後ますます趣向を凝らし、セブ日本人会会員の為になる定時総会、懇親会にしていこうと思っています。

セブ日本人会副会長
藤岡頼光

２０１７年　セブ日本人会　活動予定

１月	７日（土）	セブ日本人補習授業校主催　新年会
	４日（水）	一月度臨時理事会
	18日（水）	一月度定例理事会
	28日（土）	セブ日本人会定時総会
２月	４日（土）	日本語弁論大会　スピーチコンテスト
	１５日（水）	二月度定例理事会
３月	１５日（水）	三月度定例理事会
	19日（土）	春のセブ日本人墓地　墓参
	25日（土）	セブ日本人補習授業校　卒業式　※午前
４月	１日（土）	セブ日本人補習授業校　入学式
	２日（日）	３部合同ゴルフ大会（セブカントリークラブ）
	19日（水）	四月度定例理事会
	22日（土）	マニラより巡廻医療相談
５月	17日（水）	五月度定例理事会
	27日（土）	
28日（日）	盆踊り	
６月	２１日（水）	六月度定例理事会
７月	１９日（水）	七月度定例理事会
８月	９日（水）	八月度定例理事会
	12日（土）	土曜市（ミニ盆踊り）
	15日（火）	戦没者慰霊祭（マルコポーロ）
９月	２０日（水）	九月度定例理事会
	２４日（日）	秋のセブ日本人墓地　墓参
10月	８日（日）	セブ日本人会主催大運動会（ドンボスコ運動場）
	14日(土)	マニラより巡廻医療相談先生確認
	18日（水）	十月度定例理事会
	19日（木）	理事選挙管理委員会の設置
11月	15日（水）	十一月度定例理事会
12月	６日（水）	特別理事会
	13日（水）	十二月度定例理事会

※諸事情により、急遽日程が変わることもございます。ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。

理事就退任のおしらせ

セブ日本人会会則及びセブ日本人会理事選挙規約により山本隆生氏の退任に伴う欠員理事の補填として、
蝶谷正明氏、高谷潤氏
理事を理事全員一致で正理事に選出致しましたので報告致します

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の１ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

「大切な 未来を築く その権利」

～在外選挙の制度と手続きについて～

選挙権年齢が18歳以上になりました。ぜひ在外選挙人登録を!

在外選挙登録資格

①満18歳以上で

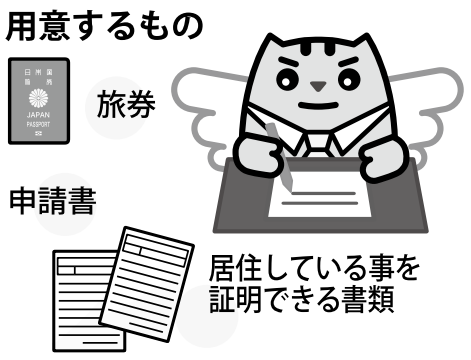
②日本国籍を持っていて

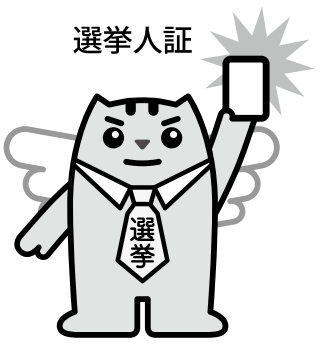
③海外に3か月以上お住まいの方

登録・投票は簡単です

必要書類を準備し申請書に記入、大使館、総領事館窓口で登録申請 ▶ 3か月後に大使館などから住所確認の連絡を受ける ▶ 選挙人証の受取 ▶

用意するもの





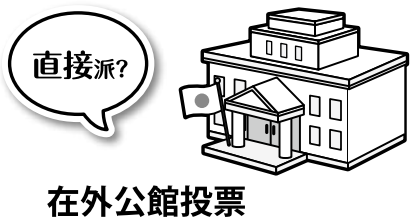
※申請書や選挙人証が海外・国内を往復するため2・3か月かかります　※選挙人証受取は郵送又は窓口での受取が選べます

代理で同居家族を通じた申請もできます。

申請者の上記書類と署名入り在外選挙人名簿登録申請書と申出書※、代理の方の旅券をご用意ください。

※申請書と申出書は、領事窓口または外務省・総務省のホームページから入手できます。

在外投票は次の3つの方法から選択できます

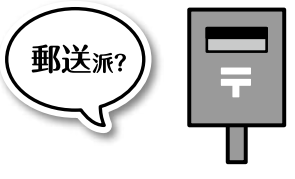


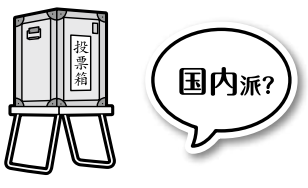
在外公館投票

直接日本大使館・総領事館（領事事務所）に出向いて投票する方法。

郵便等投票

投票用紙等を請求して、記載の上、登録先の選挙管理委員会へ郵送する方法。





日本国内で投票

一時帰国した方や帰国直後で転入届を提出して3か月未満の方は、日本国内でも投票できます。

■平成22年5月に憲法改正国民投票法が施行されました。在外選挙人証をお持ちの方は国民投票にも投票できます。

詳しくは、在セブ領事事務所　TEL：032-231-7321 Mail：cebucoj@ma.mofa.go.jp または 外務省 在外選挙 検索 まで。

外務省

「ただ前へ、歩いていこう」

Tampo Quincyanne Mari Yap

「意志のあるところに道は開ける」、リンカーンの有名な言葉です。皆さんは、どんなに難しい道でも歩き続ける意志があればゴールにたどりつけると思いますか？ 私はそう思います。「どうしてこの言葉を信じているのか？」それを今日皆さんにお話します。

皆さん、「ビリギャル」という映画を知っていますか？この映画は、学年でビリの女の子が、一生懸命勉強し、慶応大学に合格した話です。私はリンカーンの言葉を、この映画で知りました。「ビリギャル」を見て、私の心に残ったのは、「自分を信じて目標を持ち、一生懸命頑張れば、どんな困難でもクリアできる」ということです。

私は、今の会社に入ってから、大きなチャレンジが三つありました。 一つ目はPhiINITSというソフトエンジニアの試験です。一生懸命勉強 しましたが、模擬試験では、合格点を出すことが出来ませんでした。 友達とたくさん勉強しましたが、最後の模擬試験にも失敗して、私の心 には不安しかありませんでした。でも、絶対合格すると信じて、あきらめずに最後まで勉強しました。

試験の結果は、「なんと合格！」 やっぱり、あきらめないで 一生懸命勉強したかいがありました。自信が生まれて残りの二つのチャレンジ、日本語能力試験の4級と3級にも合格しました。

確かに、リンカーンが言った通り、意志のあるところに道は開ける。 私は模擬試験の得点がどれほど悪くても「合格する」という目標を持ち 続けたので、この大きな難関をクリアできたのだと思います。

Hey!Say!JUMPの「ただ前へ」という曲に、「目の前をふさいでいるのは壁じゃなくて、扉なんだ。おそれないで、あせらないで、君だけの明日をその手で掴むのさ。」このフレーズは、私にとって、目の前に壁があっても、「絶対にできるよ」と私の背中を押してくれる曲なんです。この曲のおかげで、壁に負けることなく意志を貫くことが出来ました。

きっとこれから難関がたくさんあるかもしれませんが、次へ、また次へ 意志をもって 一歩を踏み出しましょう、ただ前へ。自分の夢のために。

皆さんも夢がありますよね？私の夢は日本に行く事です。素敵なさくらを見たり、日本人の友達を作ったり、日本の文化を習ったりしたいです。その夢のために、これからも、辛くても仕事と日本語の勉強を頑張っていきたいと思います。

皆さんも、どんな夢でもその夢はまだ遠くても、未来がまだ見えなくてもあきらめないで、どんなちっぽけな一歩でもいい、いっしょに前に進み ましょう。

どうもありがとうございました。

苦しみの中を歩くあなたへ

Angeline C. Ygrubay（オープン1位）

日本には、経済的に困っている人の生活が最低水準を下回らないよう、物資・医療・教育などの面で国がサポートしてくれる「生活保護」という制度があるそうです。

私はこれを聞いた時、そんな制度があったら誰も一生懸命働かなくなって、遊んで暮らそうとする人が増えるんじゃないか・・・と、思ったんですが、日本の生活保護受給者の数は100人に1人、不正生活保護受給者になると5万人に1人だそうです。たぶんこの会場にも、生活保護を受けて、毎日楽して生きたいと本気で思う人は、ほとんどいないのではないでしょうか。

でも一体なぜ？怠け者と呼ばれたくないから、贅沢をしたいから、そんな理由で過労やうつになるリスクまで抱え、人は仕事を続けていけるでしょうか。そんな疑問に対する私なりの答えが、次にお話しする経験の中から見えてきたんです。

私は今セブで一人で暮らしています。一昨年長い連休があって久しぶりに田舎に戻りました。一日目は、学校のこと健康のことご近所さんのことなど、話は尽きませんでした。病気の祖父のお見舞いにも行きました。二日目は地元の海で泳ぎ、家族親せきとの楽しいひと時を過ごしました。三日目は母の手料理、大きな都会のどこを探しても巡り合うことのできない、最高の味を満喫しました。四日目は町で弟たちに、服や靴など小さな贅沢品を買い与え、家族全員での外食を楽しみました。

五日目・・・私は家で荷物をまとめセブに戻る準備を始めました。家族は外出したり忙しく働いていて、あたりは静かでした。それは、私にあの寂しい都会での一人暮らしを思い出させ、心を暗くしました。「できれば、ずっと家族の温かさに包まれて暮らしたい・・・でも私には、家族の生活、健康、教育などを支えるために、都会での暮らしを続ける義務がある」そして六日目、私は、足取りが一歩一歩重くなるのに耐えながら、家族と船着き場に向かいました。弟はシャイですが、涙をこらえているのが分かり私も、胸が熱くなりました。「ごめん。今は遠くから見守ることしかできない、でもいつか、家族みんなが幸せになれるよう、お姉ちゃん、頑張るから！」私は笑顔を見せ、ひっこめた涙と一緒に、その言葉を胸にしまいました。

幸せをつかむことは、誰にとっても難しいものです。ここに、最初の疑問の答えがあります。幸せはまちがっても、生活保護で遊んで暮らしている人には訪れません。真っ暗な不幸のどん底に落ちたとき、生活保護によって飢え死こそ免れても、「生きている」という実感は持てなくなるでしょう。実際に生活保護受給者の自殺率は2倍、20代なら6倍にもなるそうです。

幸せは、自分の力で、障害のひとつひとつを越えて進む人にしか、訪れません。そして、絶望から本当の意味で命を救ってくれるのは、自分にとっての幸せのイメージではないでしょうか、私にとってそれは、成長した兄弟の姿、とし老いても仲良く暮らす両親の姿です。怒りも悲しみも無気力も、負の感情はすべて、そんな夢を持つことで乗り越えていけると信じ、これからも頑張って生きていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

私の見つけた幸せへのマイルストーン

Aquielleoz Jon L. Godinez（社会人2位）

毎日幸せに生きていますか。それは、学校や職場での人間関係がうまくいっているからですか？ 家族の健康面に問題なく、経済的にも恵まれているからでしょうか？夢に毎日近づいていると感じるからですか？なるほど・・・でも、それだけで本当に幸せと言えるでしょうか。このパズルを完成させるもう一つのピースが欠けていることに気づきませんか？それは・・・神様を信じることです。「ちょいちょいちょい、宗教の勧誘？？勘弁してよ～」と思った方、ご安心ください、それは、このスピーチの目的ではありません。ただ、神様を信じることは恵まれた時代を生きる私たちにも重要だということを、どうしてもみなさんにお伝えしたかったので・・・しばらくお付き合いください。

じゃまず、次のヒントから、何かを連想してみてください。ネクタイと白のワイシャツ・・・二人組の外国人の若者・・・マウンテンバイク・・・もう分かりましたかね。実は私自身数年前、2年間の宣教活動をしていたんです。活動場所はフィリピンの田舎町でした。知らない人でも挨拶をし、ときには蛇の煮物や、カエルのBBQをごちそうになり・・・えっ、もちろん食べましたよ、断るわけにはいきませんからね。移動は自転車。これも健康維持を兼ねたいい運動でした。

さて、そんな中、両親が亡くなったりお金に困っていたり、不幸に苦しんでいる人もたくさん見ました。宣教の目的とは、こんな心の弱った不幸な人を探し勧誘すること、ではないんです。現場監督がいて「100人目の新規加入者を連れてきたのでノルマ達成です」なんて言ってくるわけでもありません。私たち宣教師は、セールスマンではなく、言葉通り、人を助け教える「教師」です。私たちがノルマやボーナスとは無縁の地道な活動に情熱を注ぐ訳は、教師としての、やりがいにあるんです。

確かに、神様は、株や、不動産みたいに、毎月決まった額のお金を振り込んではくれませんよね。CDに握手券をつけて売っているアイドルのように、身近な存在でもありませんね。そんな神様に一体どうやって、幸せを保証できるんでしょう。

今から500年ほど前、人間はルネッサンスが生んだ「人文主義」の名のもと、神様ではなく、人間と人間の生み出す「技術」を世界の中心に置きました。これらは私たち現代人に、物質的な豊さは与えてくれましたが、同時に多くの暗闇も落とし続けています。

今こそ、思い出すときです。かつて、世界から不安を取り除き、心に安らぎを与えていたものは、信仰と、祈りだったということを。この会場内に、お祈りをして願い事をしたことのない人がいるでしょうか？フィリピンなら教会で、日本なら神社仏閣で、手を合わせたことのある人なら知っています。あの、静かな安らぎや、心を前向きにする温かさを。

それは私たちの足元深く、500年間人間が作ってきたものの下敷きとなって、まだ埋まっているはずです。騙されたと思って、もう一度、掘り出しみてください。それは、あなたの幸福の地図に残された最後の空白を、きっと埋めてくれると思います。ご清聴ありがとうございました。

「本当の愛って何だろう？」

JIMENEZ HANNAH SHIERA BARBADILLO

人は色々な問題で悩むものです。私も、ある問題で悩んでいます。それは恋愛のことです。もしかしたら私は三人の男の人を好きになってしまったかもしれません。

では、まず、その三人がどんな人か、ご紹介します。

1人目はユウくんです。彼は背が高くて、笑顔が素敵な人です。私は、ハンサムで魅力的なユウくんに一目ぼれしたみたいです。

2人目はチーくんです。彼はちょっと小さいです。正直に言うと、背が低い人はあんまり魅力的じゃないと思っていたけれど、彼のことを知って、その意見が変わってきました。彼の歌声は最高だし、アクロバットも上手です。彼は三人の中で一番年下で、言葉で表せないほど可愛いんです。

3人目はヒカくんです。初めて会った時、彼はやせすぎだし、私が好きではない黄色のシャツを着ていたので、好みのタイプではない気がしました。でも、彼のことを知れば知るほど、だんだんかっこよく見えてきました。多分、彼がダンスやラップ、ギターも上手だからだと思います。 そして私は何故だか、黄色も好きになりました。

彼らはぞれぞれいいところがあって、誰が一番好きなのか、自分でも わかりません。友達に、「自分が相手の事を好きだと気づいたのはどうしてか」と聞くと、「いつも相手のことを考えていて、嫌なところも受け入れられて、話していると、とても幸せな気分になるからかな」と答えてくれました。

これを聞いて、思いうかんだのは、たった一人でした。彼はイケメンでもなく、完璧ではないけれど、私は、彼の微笑みを見るたびに、彼のことを話すたびに、ドキドキするんです。彼は私を笑顔にし、幸せにしてくれる人です。「誰かに恋していますか。」と聞かれたら、答えられます。 なぜなら、その人に対して自分の感情を抑えきれないし、うれしい時も 悲しい時も、その人との時間を大切にしたいから。そんな気持ちになる のは、たぶん恋しているということですよね。

遠藤周作は言いました。「魅力あるもの、キレイな花に心を惹かれる のは、誰でもできる。だけど、色あせたものを捨てないのは努力がいる。 色のあせるとき、本当の愛情が生まれる。」と・・・。

素敵な人と出会った時、人は 心ときめくかもしれないけれど、本当の愛は見た目とか、才能が理由ではないと思います。彼と一緒にいたい、 相手の嫌なところも受け入れられる。そう思えた時、それは愛と言えるのではないでしょうか。

皆さんはどんな人と人生を歩みたいですか。

日本人会からのお知らせ

この度セブ日本人会がセブ市創立 80 周年記念日にセブ市長特別賞を受賞しました
以下はセブ市からの内容評価です。

The Japanese Association Cebu, Inc. (JACI) was established in 1982 to deepen the cultural relations between Japan & Philippines. It has 240 members who work hard to improve the association & create better relations with the Cebuanos. JACI partnered w/ the City Gov't in holding the annual Summer Bon Odori Festival (or lantern festival dance) starting 2015 to deepen cultural bond & also accommodate less fortunate children of the city. In 2016, the festival promoted, among other highlights, the importance of garbage segregation thru the Eco Station that used 24 big plastic drums w/c were later donated to CCENRO as collection bins for household hazardous waste in the barangays. Other civic activities include the conduct of medical and dental missions in the City's poor communities.

セブ日本人会（JACI）は、日本とフィリピンの文化的交流を深めるために 1982 年に設立された。会員数は現在 240 名。この会を発展させ、セブの人々とのより良い関係を構築するために取り組んでいる。

セブ日本人会（JACI）は、毎年恒例の「夏祭り・盆踊り大会」を 2015 年よりセブ市と提携し開催しているが、これは、日比の文化的なきずなを強め、セブ市の恵まれない子どもたちに手を差し伸べることが目的である。

2016 年の同大会では、様々な呼び物の中でも、ゴミ分別の重要性についての啓発を促すため、24 個の大型プラスチック容器を使用したエコ・ステーションを設置したことが特筆される。その後この容器は、バランガイ（区）の家庭系有害廃棄物収集用の容器として、セブ市環境天然資源局に寄贈された。

その他セブ日本人会では、市内貧困地区への医科歯科診療使節団の派遣活動なども行っている。

4 月無料医療相談

マニラ日本人会診療所の日本人医師、菊地先生に
セブにお出でいただきます。

日時：4 月 22 日 (土)
午前 9 時半～午後 4 時半
場所：セブ日本人会事務所
予約：4 月 21 日までに事務局に電話でお申し出下さい。
対象：セブ日本人会、セブ日本人商工会議所会員および
その家族の方となっております。
以上

第 10 回セブ日本人墓地、墓参りのご案内

日本人墓地は戦前より当地で骨を埋められた先人達の魂を永代にわたり鎮魂しており、
近年では七名の方が永眠されておられます。
軽装で結構です。ミネラルウォーター、お花、お線香用具は用意致します。
セレモニーは 20 ～ 30 分程の予定。
参列ご希望の方はセブ日本人会事務所：電話：032 – 343-8066。Email: info@ja-cebu.com.
宛てに、3 月 17 日 (金) までにご連絡下さい。
（お電話での日本語対応は月曜日のみ。火～土曜日は英語の対応となります）

日時：2017 年 3 月 19 日 (日曜日) 午前 10 時 30 分～ 11 時 00 分頃
場所：セブ日本人墓地リロアン町 Calero Memorial Estates-Cebu 墓地内
集合：セブ日本人会が有るビルの駐車場に 9 時 55 分までに集合願います。
10 時頃出発予定。
雨天決行
直接墓地に行かれる方は下記の道順を御参照下さい。
マクタン島からだとニューブリッジを渡り、最初の交差点（右手前に Phoenix 左に Total ガソリンスタンドが有る交差点）を右折し、リロアン方向へ向かいます。
途中道路工事をしていますが、約 1.7 ㎞で新しい橋（Cansaga Bay Bridge）が見えます。
橋を越え直進し約 3.5 キロ（5 ～ 7 分）で左右に小さいマーケットが見えます。
墓地に行く交差点左にセブンイレブン ,Bea's bake shop のピンク色の看板が見えます。
その小さい交差点を右折し、舗装道路が終わり悪路を約 30m 位走り左折。
200m 程で "Calero Memorial Estates-Cebu" の看板が見えますので、グリーンのゲートを入いると墓地です。緩い上り坂を道なりに右カーブを過ぎて突き当り右が、日本人墓地。
白っぽい日除けテントと、水色の低い壁が目印です。

ID カード更新のお知らせ

セブ日本人会では 2 年に 1 度会員の皆様に配布している ID カードを更新しています。つきましては近日中に更新用の用紙を配布いたしますので　更新希望の方は速やかに提出をお願いします。ID カードは協賛店 / 協賛ホテルからのサービスを受ける事が出来ます。更に緊急時の連絡先や簡単な身分証明としても使用可能です。会員にとってはかなりのメリットを受けれますので　是非皆様更新の手続きにご協力ください。

未だ ID カードの手続きをされていない会員の方もこの機会に取得されることをお勧めします。ID カードの更新、新規は無料です。紛失などで再発行の　場合は実費費用負担をお願いしています。負担額は 100-200 ペソです。

セブ日本人会　協賛店 / 協賛ホテル一覧

■食材店
町屋マート

■ホテル・ビーチリゾート
Movenpick Hotel Mactan Island Cebu
Shangri-La's Mactan Resort and Spa Cebu
Marco Polo Plaza Cebu Hotel
Maribago Blue Water
Waterfront Cebu City Hotel
Waterfront Airport Hotel
Waterfront Insular Hotel Davao
Jpark Island Resort & Waterpark Cebu
Crimson Resort and Spa Mactan
Maribago Bluewater
Blue water SUMILON ISLAND
Blue water PANGLAO BEACH
Raddison Blu Cebu
Marco Polo Plaza Cebu Hotel
Waterfront Cebu City & Casino
Waterfront Airport Hotel & Casino Mactan
Waterfront Insular Hotel Davao
Lubi Resort Santander
Anemone Resort and Tours Cebu
Cebu City Marriott Hotel

■ダイビング・マリンスポーツ
アクアマリンオーシャンツアーズ
(マリンアクティビティ)

ブダンディン・マリン・ダイバー

アクアバディス
エメラルドグリーン・ダイビングセンター
　　マクタン店
　　サンタンダー店

■飲食店
【マンダウエ市】
神楽（和食）
らーめん野武士（ラーメン）
オイスターベイ（シーフード）
スキレット（和洋食）
HAPPY SUMO(和食)
Tao Yuan(中華料理)

【マクタン島】
だるま（和食）
空海（和食）
夜桜（和食）
マリバゴグリル（フィリピン料理）
花魁（和食）

■飲食店
【セブ市】
遊々亭（和食）
はる / 旧さっちゃん（お好み焼き）
　　タランバン店
悟空（和食）マボロ店
ミッキーズ（ケーキ）
Q 兵衛（和食）
Jazz'n Bluz（レストバー）
TYMAD BISTRO（フランス料理）
夢屋喜兵衛（和食）
AMPERSAND（西洋料理）
寿や（ラーメン）
ラーメン空 / やきとり備長炭
秋田 /AKITA (和食)
Mio Cafe and Restaurant
(フィリピン料理)
韓陽苑（焼肉レストラン）

■飲食店
【セブ市】
幸 全店 (日本食レストラン)
麻布（日本食レストラン）
一力茶屋（日本食レストラン）
Canvas Bistro Bar & Gallery(洋食)
Circa 1900(洋食)

■美容・健康
ワウ・セブ歯科医院（歯医者）
スマイルデンタル（歯医者）
Japanese Tea Lounge(マッサージ)

■レジャー・スポーツ
セブトップ
（遊覧飛行、体験飛行）

■その他
Character Studio
（オリジナルグッズ）
誰でもヒーロー (ボランティア)
NPO セブンスピリット /Sevnsprit（ボランティア）
ジャパン支援センター（退職者ビザサポート）
QQ English (英会話学校)
D'Tratou Cebu(翻訳業務)
Sky Water Park(プール＆レストラン)
Japanese Tea Lounge(マッサージ)
Wabi Linkage Corporation(翻訳業務)

■旅する
フレンドシップツアーズ
KSB トラベル
AS レンタカー

割引き、もしくは特別サービス御座います。
必ず会員証をご持参ください

広告募集中です。セブ島通信の発行費は広告料金でまかなっています。ぜひご協力ください。

【広告代金】① 3 分の 1　2 段　800 ペソ
② 2 分の 1　2 段　1,200 ペソ
③ 3 分の 2　2 段　1,600 ペソ
④ 全幅　2 段　2,400 ペソ

【お願い】① 最低 6 ヶ月は継続してください。
② この 3 号分は同一原稿です。
③ お支払は前払原則です。
④ 完成した原稿をお持ちください。

【お申込みは】
セブ日本人会事務局
電話：032-343-8066
FAX：032-343-7663

D' Tratou Cebu Translation & Travel Assistance

(横浜市立大学文理学部英文科卒 **鈴木了**)

(Document Translator): Rio Suzuki [MEL in Yokohama City Univ.]

*公文書 / 証明書 (Official Documents / Certificates) *契約書等 (Contracts / Agreements)

*仕様書 / マニュアル (Business Technical Specifications)

・・・遺族年金申込手続・・・

(Procedures for Pension Benefits to a Filipina family)

***Cedula, *BIR Cert, *Barangay Cert, *Child ID, etc.**

(日本国での担当：**中原周太郎**　行政士)

Please feel free to inquire directly!

・・・法律相談・・・

(Legal Advice & Assistance)

フィリピン国弁護士による諸手続・法律相談

(会社設立 (SEC・DTI)(Mepz 含む) 養子縁組・離婚・その他訴訟)

(担当：弁護士　ダニロ シノブハン　日本語できます)

◆ Inquiry: Cell: 0917-7171-839. Tel & Fax: (032)263-0614
◆ Email: suzukicebu@yahoo.co.jp ◆Website:www.cebu-mactan.jp
www.mactanboy.com

広告掲載募集

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の１ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

パジェットコンド・賃貸 (日本人所有) のご案内

最高のロケーション (アヤラデパートまで徒歩７分)・フィットネスプール、TV, 調理器具、ダブルベッド、エアコン、ソファー、窓カーテンすべての生活用品が完備しています。新築２年のスタジオタイプ。

契約書は日本語、日本での支払い可能
（日本人への賃貸希望）

--- 問い合わせ ---

セブでの連絡先・現地案内 (無料) は **263-0614[鈴木]** にどうぞ！契約詳細等は大阪市在住の女性・竹田さん (所有者) に直接お問い合わせ頂きます。

--- 賃貸料 ---

[参考]:最小期限１年、月４万５千ペソ、長期契約は割引。共有料金等は直接ご相談頂きます。

※その他リロアン町高級団地「ドロス不動産」に家屋所有。竹田さんの母親の隠居家 (2F) ですが、フィリピンメードだけだと不安なので一緒に住んでくれる日本女性 (夫妻可) を探しています。寝室４部屋あり３部屋、その他は自由にお使いいただけます。家賃格安。ご相談ください。

◆ セブの問い合わせ：　0917-7171-839.（032)263-0614
◆ Email: suzukicebu@yahoo.co.jp　www.cebu-mactan.jp

FOR SALE

アルタビスタ・ゴルフ・アンド・カントリークラブの B クラスシェアを販売希望です。外国国籍の方向きです。
価格：₱ 450,000 (交渉可、税別)
必要経費等は購入される方持ちになります。

Share only. 'B' Class at Alta Vista Golf and Country Club - Good for foreigners to purchase.
₱ 450,000 negotiable.
The price indicated is net - all expenses are for the account of the buyer.
Contact: Henry 0917-720-7881
(連絡先)

エメラルドグリーンダイビングセンター

Emerald Green Diving Center

☆★ ジンベエツアー開催 ★☆

日本人インストラクターが5人常駐！！ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタンダー、モアルボアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらも潜ってみてはいかがですか？

電話：(032)495-7728 or 495-8372
携帯：0917-321-6349(日本語可)
場所：Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu Cit,

特典　セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方オリジナルTシャツ贈呈＆ランチ無料！
プロモ期限：当セブ島通信発行年月より１年間

SHIRONA MART シロナマート

圧倒的な品揃え！

日本より直輸入

学生 ID 提示で留学生割引あり！

電話番号：032-492-1953
営業時間：11：00 – 21：00
住所：
1F Sebastien Hotel, M.L. Quezon National Highway, Lapu-Lapu City
(マクタンニュータウンゲートすぐ横、セバスチャンホテル１階です)

BBMAX TECH INC.
TENSO TV MOBILE

現在セブでは 41 箇所に設置済みです
日本と同じでリモート一つでテレビが観れる

Aコース（民放８チャンネル）
₱18000 / 年

Bコース（民放 ,WOWOW,BS）
₱27000 / 年

取り付け時間五分で終了

面倒な操作が要らないのが受けてます！

032-492-1953
0917-622-9863

【新年会】

二〇一七年最初の補習校は、一月七日（土）十時～十二時まで、新年会を行いました。毎年恒例の餅つき、書初め、正月遊びなどを楽しみました。

餅つきは、毎年、初めて体験する一年生を中心に杵でついていますが、すでに何度か体験している高学年の生徒も積極的に餅つきに参加をしてくれました。また餅のお替りをする生徒の長い列ができるほどの盛況ぶりでした。その餅の調理には、卒業生も参加してくれました。

書初めも慣れない毛筆を使って一生懸命取り組み、それぞれの生徒の個性あふれる作品となりました。書初めをご指導いただいた永井先生、餅つき・調理をお手伝いいただいた辻様、餅父兄の皆様、ありがとうございました。

バレンタイン

二月十一日の三時間目に、中学一～三年合同でチョコレートを作りました。二月十四日がバレンタインデーということで企画しました。フィリピンでのバレンタインデーというと男性から特別な女性に何かプレゼントをするという習慣があるようですが、

最近ではチョコレート売り場もバレンタイン用のものも売られるようになり、日本の影響なのかもしれません。

市販のチョコレートを湯煎で溶かし、クッキーやコーンフレークなどを混ぜて、一口サイズに分けていきました。実は昨年も中学クラスで、手作りチョコを作ったのですが、生クリームを混ぜたため、冷やしてもなかなか固まりませんでした。日本のレシピ通りに材料を量って入れましたが、暑い国ではうまくいかなかったのかもしれません。そんな反省から、今年は生クリームは入れずに作りました。溶かしたチョコレートを小さなカップに入れるのが少し難しかったようですが、きれいに出来上がりました。生徒はタッパーウェアに入れて家に持ち帰り、家族と食べてくれたようです。

【節分】

二月四日の三時間目に、節分の行事を行いました。節分の由来を聞き、「サザエさん」の節分の話の動画を観て、最後に殻付きピーナッツで豆まきをしました。

「サザエさん」ですが、日本で育った者にとっては、身近なアニメですが、みんな楽しみにしているようです。よくよく観れば、日本の、古き良き時代の家庭の日常が描かれており、生活習慣など庶民の生活がよくわかるアニメです。日本に住むようになった時には、当たり前のように暮らすようにしてないましたが、こうして外国で暮らすようになると、なんとも懐かしい気がします。日本文化がよくわかるのといえば、興味を持つのではないかと思います。

豆まきですが、数年前までは、大豆でやっていた豆をいまでは、本棚の下などに入り込んで来るんだなぁ、と思いました。

行事担当講師やいろいろ取り組んでいる豆まきを復活させようと考えました。

鬼役の男性講師に向かって、嬉々として殻付きピーナッツを投げつけていました。かなり思い切り投げつけるので、鬼役は痛そうにしていました。この勢いで災いも逃げていくことでしょう。最後に煎り豆をみんなで食べました。みんな自分の年の数以上に食べていました。

【来年度の補習校について】

現在、午前クラス（小学一～三年・日本語1～5）と午後クラス（小学四～中学三年）の二部制で授業を行っておりますが、二〇一七年四月より、午前のみの一部制となります。

生徒数が増え、授業に集中する環境を整えるのが難しくなったため、二〇一四年四月より二部制としましたが、昨今の生徒数減少に伴い、四月より一部制に戻すことになりました。二〇一四年三月時点で、百十三人おいた生徒数ですが、現在は約六十名となっており、一部制でも十分に教室の割り振りが可能で、静かな環境で学習できると判断しました。

二部制では、午前クラスと午後クラスの交流はほとんどできませんでしたが、これからはより親密に交流できるのではないかと期待しています。

また、きょうだいで午前クラスと午後クラスで分かれてしまっていた家庭の送迎の負担も減らせると思っています。

日本語クラスでは、毎年一月にレベルチェックテストを行っております。今年は一月十四日に実施しました。現在、5クラスに分けている日本語クラスですが、来年度からは、日本語1～3クラスに分ける予定です。

教科書クラスにおいても、特に人数の少ない学年については、複式学級とする方向で調整をしております。

今後の生徒数については、増えるのか減るのかを予想のはたいへん難しいのですが、その時々で柔軟に運営方針を変えていかなければならないと考えております。

教科書クラスについては、今後も、生徒の急な増加は考えにくいことから、複式クラスを基本に、カリキュラムの見直しを再来年度に向けて進めていくことを予定しております。

長年日本の教科書を使用し、日本に戻っても困らないような授業をすることを教科書クラスでは目指して参りましたが、生徒数やニーズの変化により、変わるべき時期なのかもしれないと実感しています。

情報化社会となり久しくインターネットなど、様々なことが可能になり、数年前に比べると格段に海外で生活するのも便利になりました。おそらく学習においてもどんどんボーダーレスになっていくのだろうと思います。そのような中で、あえて体験をすることを中心に補習校の在り方も見直しをしていかなければならないのではないかと考えています。

二〇一七年四月一日（土）より、午前九時より正午十二時までの授業になります。また、四月一日の十一時三十分より入学式を行います。今のところ、七名の新入生を迎える予定です。

KADVO歯科無料診療及び教育支援活動の報告

櫻井絹恵

1982年に始まった神奈川海外ボランティア歯科医療団とセブ歯科医師会による合同歯科無料診療活動は今年で34回目を迎え、2月9日及び10日にサンニコラス小学校で行われました。日本複数の歯科大学同窓生、歯科衛生士、歯科技工士及び歯科医師に加え、直接従事しない一般の方々の参加もあり、セブ歯科医師会やボランティアが協力し、34年間継続されています。フィリピンでは日本の様な健康保険制度がなく、経済的な問題から歯科医療を受けられないこと、また口腔環境の健全化に対する意識が低いことなどの点から、歯科医療の機会に恵まれない人々に対し診療活動を実施するだけでなく、口腔衛生教育や予防活動を行なっています。今回の治療活動では抜歯893名、充填359名、歯石クリーニング526名、義歯102名、計1880名の患者に歯科治療を行い、また1065名の小学低学年生に予防教育を行いました。セブ日本人会会員様にもビサヤ語や英語の通訳としてボランティア活動に参加して頂きました。誠にありがとうございました。お陰様で安全で充実した歯科医療活動を終了する事が出来ました。2004年から開始した教育支援プロジェクトのハートペアレンツで虐待や養育放棄された子供達に里親支援を行なっています。2月11日は80名の子供達と里親やボランティアとの懇親会をハドソンで行いました。教育の機会を与えることにより負の連鎖を断ち切り、将来に夢を持てる安定した社会生活を営むよう支援しています。今後とも恵まれない方々に対し、歯科医療のみならず健康と幸せな生活の手助けを継続して参りますので、今後とも御支援の程宜しくお願い致します。

大学卒業直前、セブで過ごした1ヶ月

NPOハロハロ学生インターン（東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科4年）大澤彩香

私はNPOハロハロのセブ専属インターンとして1ヶ月セブに滞在した。ハロハロは、生計向上、教育、人材育成を軸としてセブ・マニラ・日本で活動している団体で、ビジョンは「世界中の誰もが魅力的に働き生きることのできる社会の実現」である。以前から私は東京事務所で2年以上インターンを行っており、広報やワークショップの運営などに携わってきた。

当初私がこの団体に関わり始めた時、「フィリピンでなければいけない理由」というのは無かった。また私が長く続けたのに深く関わるなんて思っていなかった。けれども今は、「ハロハロで、フィリピンで、本当に良かった！」と思っている。私は「国際協力」に関心があって、このような活動を始めることにした。小学生であったとき、あまり学校が好きでなかった私は、そのときテレビで見た、「学校に行けない子どもたち」の「学校に行きたい」「勉強したい」という言葉に驚き、忘れることができなかった。そして、「なぜ、学校に行けないのだろう」「なぜ、働かねばならないのだろう」という疑問がきっかけとなって、今に続いている。

私はセブで、広報活動やツアーのアテンド、各事業の補助などを担当した。私は3月に大学を卒業するのだが、将来国際協力の場で働きたい、「現場」を経験したいと、卒業式までの春休みをこのインターンに使うことに決めた。フィリピンの生活は、とても楽しい。日本だったら「あり得ない」という文化の違いは勿論、人々がジョークを飛ばし、いつも笑顔でとても明るい。「もっと食べなよ！」とご飯を勧めてくれるので、私は毎回食べ過ぎだな…と思っている。また「アテー！」と駆け寄ってきた子どもが、ルールが分かっていなくても、私はれるので、ルールが分かっていなくても、遊んでいる。

ハロハロの事業地は、「絶対的貧困」に当てはまる人々が住んでいる地域だ。自分たちが、竹やトタンを使って家を建てている。川沿いなので川の増水により浸水しやすい場所があり、増水が予想される場合には、バランガイ・センターに避難するなどの不安定な職に就いている者が多く、サリサリストアに借りたりして、高利貸しに借りたりしてツケを作ったり、家もある。

インタビューを行ったのだが、その最中言葉に詰まり泣いてしまう学生もいた。両方ともお母さんが回答してくれたのだが、どちらも望みは「子どもが健康でいること、大学に入学・卒業すること」だった。ただ一方のお母さんは、夫が麻薬中毒であり、家庭内暴力もあることも語った。将来のことを質問した瞬間、お母さんは泣き出してしまった。同じ地域に住んでいて、どちらも「1日1・90ドル以下」の生活をしていても、家庭によって状況は大きく異なる。ただ「生きる」ということは、目の前のお母さんたちの日常であるのだと学生は感じたようだ。

私がセブに来て一番感じたのは、ハロハロは彼らを全面的に信頼していることだ。特にシステムを構築するときは、「自分たちに合ったやり方を、話し合って自分たちで見つけてもらう」。もちろん、それを見つけるための最大の応援はするが、最終的に自分たちの続けていけるやり方でなければいけない。スタッフがいなければできないやり方ではなく、どう「自立」させるか、どう地域を引っ張っていくリーダーを育成していくか、に重きが置かれている。

ハロハロの成長スピードには目を見張るものがある。私が参加し始めた2014年頃には学生は殆どいなかったし、規模も本当に小さかった。今も課題は多いが、トライ&エラーを繰り返してやってきたからこそ、現地にリーダーを務める女性がでてきたり、もっと給料の良い職業を選べたのにも関わらず、地域の役に立ちたいと仕事を掛け持ちしながら先生をやる女性が現れている。ただ、これらが実現しているのは、ハロハロなら代表のカだけではない。セブの場合で言えば現地協働団体とパートナーシップを組んでおり、その人たちの強い志、経験も多くの役立っている。また人を繋げてくれる人がいたり、小さな力が積み重なってきたからこそ、このようなサポートが可能になったのだと思う。

「協力」という言葉に「国際」という言葉をつけると、「外国語がペラペラで、頭のいい人たちが、貧しい人を助ける」というイメージがつきやすい。でも、国も地域も関係なく、自分ができる「協力」をすればいいのだと思う。ただ、「宿題をやってあげること」は「本当の」協力にはならない。上下の関係ではなく、信頼や「自分らしく」いられる場を築いていきたいと私は思う。

和僑会発足パーティーに呼ばれて

田中　宏明
NPO法人　セブンスピリット

去る2月11日、Circa1900というレストランにてWAOJE Cebu（セブ和僑会）の発足記念パーティーが開催されました。和僑会は世界で活躍する日本人起業家の皆さんが相互扶助を目的に設立された組織ということで、起業やビジネスといった言葉とは無縁の人生を送っているボランティアの身としてはあまりご縁のない世界かなと思っていたのですが、同会・副会長の若村さまよりお声がけいただきまして、子どもたちが皆様の前で演奏をする機会を頂きました。

僕個人としてもパーティーの最初から参加させて頂いたのですが、当日はセブ和僑会のメンバーのみでなく日本やシンガポール、香港などから和僑会の皆さんがお集まりになっていましたし、櫻井絹恵さまをはじめとするセブ日本人会の方々、また、セブのご盆踊りなどで活躍している若い方々も大勢、ご出席されていました。

皆さん、それぞれの立場からセブについて、ご自身の事業についてお話しされていましたが、その中でも心に残っているのが和僑会の創設者である筒井さまのお言葉。難しいことをごちゃごちゃと言うのではなく、みんなで仲良くしようじゃないかというのが最大の趣旨なんだと、それだけのことなんだと仰られていて、そのシンプルで真っ直ぐなお気持ちが、会をここまで大きくされた原動力なのだなと、僕自身のNPO法人を運営していく上でのヒントを頂きました。

僕自身もセブで5年間、NPO法人の活動をしてきたなかで、周りの方のサポートがなければここまで活動を続けることはできなかったと思いますし、日本に住んでいる以上に相互扶助のありがたさを感じる毎日です。セブ日本人会、商工会議所、セブ和僑会と会はいろいろとありますが、日本人、特に若い方たちが力を合わせることによって、セブはもっと良くなっていくのだろうという大きなパワーを感じました。

また、実際に子どもたちの演奏を披露させて頂いた際の盛り上がりには、とても驚きましたし、皆さんが食事の手を止めて子どもたちの演奏や歌に聴き入ってくださり、大きな拍手を頂くことができました。子どもたちにとってもこういった場で演奏をさせて頂けるのは成長の大きな機会につながります。改めて、ご招待いただいたセブ和僑会の皆様にはお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

セブ和僑会のサポートによって今後、日本からあらたにセブの地でチャレンジをする若い力が入ってくれれば、フィリピン人の雇用が生まれると思いますし、それはフィリピンの子どもたちにとっての大きなチャンスになると思います。ですが、いくら雇用が生まれても、貧困層出身の子どもたちは、なかなかその機会をつかむチャンスがありませんでした。僕がこの地でできることは、そういった子どもたちが熱中して打ち込めるものを用意し、それを通じて子どもたちの成長を促すこと。人間的な成長を促すこと。そして、そういった子どもたちが大きくなり、日本人の皆さんが抜け出すやらられている会社に勤め、スラムを抜けることができれば、言うことはありません。

いつかくる、その日のために、これからも子どもたちと一緒に一歩ずつ活動を続けていこう。あらためてそんなことを考えた、WAOJE Cebu発足記念パーティーの夜でした。

GOOD 私のマーヨンなご近所

水野

毎年、神奈川県海外ボランティア歯科医療団がセブで、地元の歯科医らと、無料で歯科医療を行っている。今年で三十四回目だそうで、二月九日・十日にサンニコラス小学校で行われた。活動は以前から知っており、私は神奈川県出身でもあるので興味はあった。

なかなか参加するまでには至らなかったのだが、三年前にこのセブ島通信に「ボランティア募集」記事を見つけ、それから お手伝いをしている。

私の仕事は、日本人歯科医とフィリピン人の患者の通訳である。他人の口の中を見るということは、そうそう普段あるものではない。もともと虫歯のなりにくい人とそうでない人がいるそうだが、それにしても、これほど生活の質が口の中に如実に表れるものかと愕然とする。経済的なものも確かにあるのだろうが、それでも毎日、歯を磨くといった我々日本人にとっては、ごく当たり前のことを、当たり前のことと思っていない人たちが結構いる。だからなのか「歯石除去」希望が圧倒的に多い。

しかし本来の意味で「歯石除去」を希望しているのかは甚だ疑問である。何となく「口の中を掃除してくれる」とか「歯を白くきれいにしてくれる」みたいなことを期待しているのではないかと感じる。もちろん「歯石除去」も口内衛生にとっては重要なことである。

しかし、例えば虫歯があるのなら、歯石除去より、虫歯治療の方が先ではないだろうか、と私に限らず日本人にしてみれば思うだろう。しかしフィリピン人の優先順序はちがうらしい。今ならちょっと削って詰め物をすれば大丈夫だよ、と言っても、頑なに歯石除去を希望する。このまま虫歯を放っておくと後で抜かなくてはならないことになるよ、クドクドと説明をしても満面の笑顔で「歯石除去で。」と返される。

更に虫歯が進んでいる人はもう抜かなくてはならない。他のことを希望しているに違いないだろうと思うが、それでもまだ「歯石除去」を希望するのは、もうダメになった歯は諦めて、残っている歯を大切にしようという気持ちなのであろうか。

そうやって頑なに「歯石除去」を希望する人たちもいるが、中には「抜歯」を積極的に希望する人たちもいる。診察して、まだ抜歯しなくても詰め物で大丈夫だよ、と説明しても、「いや、めんどくさいから抜いちゃって」という強者もいて驚いた。歯は抜いても何度でも生えてくると信じているフィリピン人歯科医師から、この歯は抜いたらもう生えてはこないよ、と告げられ、「そうなの？」と驚いていた患者もいた。

「歯石除去」と「抜歯」を選ぶポイントとしては、どうも「痛み」であるようだ。医者から見てどんな段階であろうと、「痛み」の自覚があるなら「抜歯」、なければ「歯石除去」ということなのだろう。

口を開けると、ほとんど歯のない人も結構いた。私とそんなに年齢が変わらないくらいの人たちだ。口の中に三本くらい残っている歯が、牙のように伸びている。歯は上下で噛み合っていないとどんどん伸びるのだそうだ。あと、一見、歯がないように見えても、根っこは残っている場合も多い。なぜそこまですり減ってしまったのか。同じ年月を生きているはずだが、この人には何があったのだろうか、とカルテに書かれた年齢を盗み見しながら、感傷的になったりもする。

口の中だけではなく見た目においても、年相応という人は逆に珍しい。小学生というが、小さすぎるとか。子供のうちは、全体的に実年齢より幼く見える。しかし、年齢が上がると、実年齢より老けて見える。どのタイミングでこの逆転現象が起こるのか、以前から不思議には思っていたが、こんな風にまとめてたくさんの人に接すると、ますます興味がわき、真剣に調査して世に発表しようか、とか考えてしまったりする。

歯の話で思い出したが、実は、昔、夫と出会った時、笑顔にきらりと光る白い歯と、真夏の日差しにクラっときて、今がある。しかし、結婚し、近くでよく見ると、白いと思っていた歯は、肌の色とのコントラストで白く見えていただけであったし、実際には虫歯だらけであった。にもかかわらず、お金もないくせに、半年に一度、せっせと「歯石除去」に通っていた。あの時の夫の心情がまったく理解できなかったが、こうして二年、お手伝いをして、今は理解できる。夫の虫歯は痛くはないのだろうし、見た目が命なのだろう。

そういえば、同居している姑が歯磨きをしているところを見たことがない。歯ブラシさえ見たことがない。口を開けさせて中をのぞいたことはないが、とりあえず見えるところの歯は残っている。時々、歯が痛いと言って、私の正露丸をこっそり詰めているのは知っているが、歯医者に行っていたという話も聞いたことがない。注射が恐ろしいという理由で具合が悪くても病院に行かない。いくらいだから、いくらかなくても歯医者には行かないだろう。そういう人生もあるのだ。

息子たちが将来、結婚したいと言って彼女を連れて来たら、私は真っ先に口の中をチェックしようと密かに決めている。どんな人柄なのかはともかく、どんな人生を送ってきたのかはおそらく一目瞭然であろう。それで反対をすることはしないが、こちらの関わり方にはかなり影響をすることだろう。

女 36 歳　セブ島で楽しく明るい貧乏生活

JUNKO

フィリピン人は無類のミスコン好きです。DAREDEMO HERO で支援する子供たちの通う小学校や高校でも頻繁に「Miss ○○」というイベントが頻繁に行われます。幼稚園でさえもミスコンが開催されていて、子供とは思えないほど、ド派手な衣装とお化粧をした小さな子供たちがステージで歌ったり踊ったりする姿を見て、始めはとても驚きました（今ではすっかり慣れていますが・・・笑）。

先日、セブ日本人会を通じて「シノログ・クイーン」のステージを見る機会がありました。セブに住んでいながら、このような機会はとても貴重で、フィリピン人スタッフと一緒にワクワク・ドキドキして会場に向かいました。会場に着いてまず驚いたのが観客の数とステージの大きさです。それぞれの地区代表のクィーンを応援に来たサポーターたちで会場は埋め尽くされていて、熱気ムンムンでした。コンテストが始まると、その熱気はさらに過熱し、まるでサッカーや野球の観戦をしているかのような盛り上がりでした。ふと横にいるフィリピン人スタッフを見てみると、その見方は他の観客と一味違いました。実は今回一緒に会場に向かったスタッフは、昔はよくミスコンに参加していたそうで、一人一人の名前と出身地をメモに取り、衣装の担当、メイクの担当者の名前までメモに取っていました。いったい何に必要な情報かは分かりませんが、仕事中には見せない真剣なまなざしと真面目さで、ミスコンを観戦するフィリピン人スタッフにちょっと感心してしまいました。

コンテストも終盤に入り、私が心配していたのはただひとつ。帰りの交通手段です。これだけの人が一気に動き出したら、ジプニーもタクシーも絶対捕まらない。であれば、一足早く会場を出て、帰りの交通手段を確保するのが賢明だと判断しました。しかし、一緒に行ったフィリピン人スタッフは、どうしても最後の結果発表を聞かなければ帰りたくないと言い張り、結局最後まで会場に残ることになりました。優勝者の名前を間違えて発表するという、よくあるミスが発生し（笑）、会場はブーイングの嵐。案の定帰りの交通手段は見つからず、かなり遠くまで歩いた場所でやっとタクシーを見つけ、家路につくことができました。クタクタになっている私とは対照的に、ミスコンの感想や真似をして大はしゃぎのフィリピン人スタッフ。本当にミスコンが大好きなんだなあと、実感しました。

ミスコンと言えば、先日マクタン島で行われたミスユニバースです。この日はマクタン島の学校が休みになるという、日本では考えられない盛り上がりっぷりでした。子供たちの通う学校でも、先生方はみんなテレビのある部屋に集まり、授業はそっちのけでミスユニバースにくぎ付けでした。日本ではあまり話題になることのないこれらのミスコンですが、フィリピン人にとっては何よりも大切なイベントなのです。

自分の美しさ、魅力を人前で披露するミスコン。今回それを身近に体験することで、フィリピン人の魂に触れた気がします。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社（セブトリップ、咲楽、セブポット様）のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。
いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでいます。
この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会　会長　櫻井絹恵

マクタン・セブ島のおススメ観光情報サイト CEBU Trip by COUPON Magazine
CEBU navi Sakura
Cebu Pot

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の１ヶ月前を締切として原稿を公募しております。